

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 16 年 8 月 26 日 (2004.8.26)

【公開番号】特開 2000-227784 (P2000-227784A)

【公開日】平成 12 年 8 月 15 日 (2000.8.15)

【出願番号】特願 平 11-171260

【国際特許分類第 7 版】

G 0 9 G 3/36

G 0 2 F 1/133

G 0 2 F 1/136

G 0 9 G 3/20

【F I】

G 0 9 G 3/36

G 0 2 F 1/133 5 5 0

G 0 2 F 1/136 5 0 0

G 0 9 G 3/20 6 2 3 L

G 0 9 G 3/20 6 3 3 B

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 8 月 12 日 (2003.8.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の走査線と複数のデータ線との交差に対応して設けられたスイッチング素子と、前記スイッチング素子に接続された画素電極とからなる画素を駆動する電気光学装置の駆動回路であって、

前記走査線の本数よりも少ない段数の単位回路からなるシフトレジスタであって、所定周期のクロック信号に基づいて各段の単位回路からの転送信号を順次出力するシフトレジスタと、

前記各段の単位回路から出力された転送信号を時間軸上で複数の分割して、それぞれを走査信号として前記走査線に順次出力する出力手段と

を備えることを特徴とする電気光学装置の駆動回路。

【請求項 2】

前記出力手段は、

前記単位回路にそれぞれ対応して設けられ、各々は、対応する単位回路から出力された転送信号を複数本に分岐する分岐配線と、

前記分岐配線による分岐に対応して設けられ、各々は、前記分岐配線により分岐された転送信号と、所定のイネーブル信号との論理積信号を走査信号として出力するイネーブル回路とを備え、

同一の分岐配線によって分岐された転送信号が供給されるイネーブル回路同士においては、アクティブ期間が互いに重複しないイネーブル信号が個別に供給される

ことを特徴とする請求項 1 に記載の電気光学装置の駆動回路。

【請求項 3】

隣接するイネーブル回路はデータ線の配列方向に沿って、互い違いに配置されていることを特徴とする請求項 2 に記載の電気光学装置の駆動回路。

【請求項 4】

前記イネーブル回路の各々は、
前記転送信号と前記所定のイネーブル信号とを入力する N A N D ゲートと、その出力を反転するインバータとの直列接続からなる
ことを特徴とする請求項 2 に記載の電気光学装置の駆動回路。

【請求項 5】

前記イネーブル回路の各々は、
前記転送信号が入力され、かつ、前記所定のイネーブル信号が入力されたとき、前記走査信号を出力するトランсмисシオンゲートである
ことを特徴とする請求項 2 に記載の電気光学装置の駆動回路。

【請求項 6】

前記イネーブル回路の各々は、
前記転送信号が入力され、かつ、前記所定のイネーブル信号が入力されたとき、前記走査信号を出力する薄膜トランジスタであって、P 型または N 型のうち、いずれか一方のチャネル型からなる
ことを特徴とする請求項 2 に記載の電気光学装置の駆動回路。

【請求項 7】

前記駆動回路は、
前記画素電極の形成領域を挟んで両側に形成されて、
前記両側のうち、一方に形成された駆動回路は、前記複数の走査線のうち、奇数本目の走査線に対して走査信号を出力し、他方に形成された駆動回路は、偶数本目の走査線に対して走査信号を出力する
ことを特徴とする請求項 1 に記載の電気光学装置の駆動回路。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の電気光学装置の駆動回路を備えたことを特徴とする電気光学装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0027
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0028
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0029
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0030
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正10】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0031
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正11】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0032
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正12】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0033
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正13】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0034
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正14】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0035

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3 1】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 5 2
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 3 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 5 3
【補正方法】削除
【補正の内容】